

回群馬肝疾患治療研究会，前橋，2004，7。
 田中克明：脂肪肝と非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）（講演）。神奈川県内科医学会第29回臨床医学研修講座，横浜，2004，9。
 田中克明：消化器内科の過去・今・未来（講演）。第14回鶴屋町懇話会，横浜，2004，10。
 粉川敦史：早期胃癌に対するESD（Endoscopic Submucosal Dissection）の現状。藤沢市医師会消化器病医会学術講演会，藤沢，2004，10。
 沼田和司，磯崎哲男，田中克明。肝細胞癌診断における各種診断法の評価（ワークショップ），2004，10。
 沼田和司，田中克明：GE Ultrasound 最新技術セミナー

KANAGAWA GE LOGIQ 7 2004使用経験，横浜，2004，11。
 齊藤修治：消化管ストーマを要する疾患。第20回神奈川県ストーマリハビリテーション講習会，横浜，2004，6。
 池 秀之：大腸癌におけるSSI防止対策。第66回日本臨床外科学会総会，盛岡，2004，10。
 池 秀之：直腸癌に対する自律神経温存手術。第20回神奈川県大腸肛門疾患研究会，横浜，2004，11。
 池 秀之：直腸癌に対する側方郭清の意義と適応—内腸骨血管合併切除から神経温存D3郭清—。第6回岡山BCM研究会，岡山，2004，12。

小児総合医療センター

（論文発表）

Aihara Y, Ito S, Kobayashi Y, Aihara M: Stevens-Johnson syndrome associated with azithromycin followed by transient reactivation of herpes simplex virus infection. *Allergy* **59**: 118, 2004.
 Aihara M, Mitani N, Kakemizu N, Yamakawa Y, Inomata N, Ito N, Komatsu H, Aihara Y, Ikezawa Z: Human herpesvirus infection in drug-induced hypersensitivity syndrome, toxic epidermal necrolysis and Stevens-Johnson syndrome. *Allergology International* **53**: 23–29, 2004.
 Ito S, Ishii KJ, Shiota H, Klinman DM. CpG oligodeoxynucleotides improve the survival of pregnant and fetal mice following *Listeria monocytogenes* infection. *Infect Immun*. **72**: 3543–3548, 2004.
 Miyamae T, Kurosawa R, Mori M, Aihara Y, Aihara M, Yokota S: An infant with γ -globulin-induced hypersensitivity syndrome who developed Evan's syndrome after a second γ -globulin treatment. *Mod Rheumatol* **14**: 314–319, 2004.
 Dong L, Ito S, Ishii KJ, Klinman DM: Suppressive oligonucleotides protect against collagen-induced arthritis in mice. *Arthritis Rheum* **50**: 1686–1689, 2004.
 Ikeda M, Ito S, Honda M: Hemolytic uremic syndrome induced by lipopolysaccharide and Shiga-like toxin. *Pediatr Nephrol* **19**: 485–489, 2004.
 Matsumoto R, Fujino K, Nagata Y, Hashiguchi S, Ito Y, Aihara Y, Takahashi Y, Maeda K, Sugimura K: Molecular characterization of a 10-kDa buckwheat molecule reactive to allergic patients' IgE. *Allergy* **59**: 533–538, 2004.
 Yokota Y, Kikuchi N, Matsuura N: Screening for diabetes by urine glucose testing at school in Japan. *Pediatr Diabetes* **4**: 121–128, 2004.

Nakazawa M, Shinohara T, Sasaki A, Echigo S, Fukushima N, Kado H, Niwa K, Oyama K, Yokota M, Iwamoto M, Nagashima M, Nakamura Y: Arrhythmias Late After Repair of Tetralogy of Fallot—A Japanese Multicenter Study—. *Circulation J* **68**: 126–130, 2004.
 Yamakawa Y, Ishikawa T, Uchino K, Mochida Y, Ebina T, Sumita S, Kobayashi T, Matsushita K, Matsumoto K, Ohkusu Y, Nishizawa T, Takigiku K, Iwamoto M, Kimura K, Uemura S: Prevalence of Right Bundle-Branch Block and Right Precordial ST-Segment Elevation (Burgada-type Electrocardiogram) in Japanese Children. *Circulation J* **68**: 275–279, 2004.
 伊藤玲子，小林慈典，横田俊平，相原雄幸：食物アレルギーが疑われた小児における魚卵，貝類に対するCAP-RAST®の有用性の検討。日本小児アレルギー学会誌，**18**: 199–205, 2004。
 西澤 崇：先天性QT延長症候群の遺伝子型と表現型の比較検討—T波の形態および運動負荷によるQT短縮応答と遺伝子型の関連について—。横浜医学，**55**: 11–18, 2004。
 渡辺重朗，成相昭吉，石田 華，藤田秀次郎，菅井和子，鎗木陽一，池部敏市：小児伝染性膿痂疹の細菌学的検討。小児科臨床，**57**: 2079–2084, 2004。
 中村智子，奥山健一，相原雄幸，青柳和夫，土橋克彦，山下武史，菅原浩二，山口修，横田俊平：MCLSにおけるグロブリン大量静注療法（IVGG）不応例に対する血漿交換療法（PE）についての検討—臨床の面から—。ICUとCCU，**28** 別冊号: S57–S58, 2004。
 中島章子，梅林宏明，黒澤るみ子，今川智之，片倉茂樹，森 雅亮，相原雄幸，横田俊平：メチルプレドニゾロンパルス・シクロフォスファミドパルス併用療法を行った抗リン脂質抗体症候群・シェーグレン症候群合

併型全身性エリテマトーデスの1男児例. 小児科臨床, **57**: 1115-1120, 2004.

室谷浩二, 菊池信行, 他: GATA 3 ハプロ不全の多彩な臨床像 11家系20症例の検討. ホルモンと臨床, **52**: 965-970, 2004.

(総説)

相原雄幸: 食物依存性運動誘発アナフィラキシー. 日本小児アレルギー学会誌, **18**: 59-67, 2004.

相原雄幸: 自己免疫疾患のすべて 若年性特発性関節炎(旧若年性関節リウマチ). 臨床看護, **30**: 926-929, 2004.

相原雄幸, 伊藤玲子: 特集 食物アレルギー 食物依存性運動誘発アナフィラキシー. 小児科診療, **67**: 1137-1142, 2004.

相原雄幸: 特集: 見逃されていた重症薬剤アレルギー—DIHS—小児の DIHS. 皮膚アレルギーフロンティア, **2**: 25-29, 2004.

相原雄幸: 症例から学ぶ自己免疫疾患 混合性結合組織病. 小児内科, **36**: 1587-1591, 2004.

菊池信行: 糖尿病をもった女性の計画妊娠 小児科の立場から. 糖尿病と妊娠, **4**: 24-27, 2004

菊池信行: 腎性糖尿. 日本医事新報, 2004.

(学会発表)

Aihara Y, Ito S, Aihara M: Two different adverse drug reactions in a pediatric patient separated by a 15-month interval: Carbamazepine-induced hypersensitivity syndrome and cefaclor-induced cutaneous eruptions. Drug Hypersensitivity Meeting, Bern, Switzerland. 2004, 5.

Akaike T, Nisizawa T, Iwamoto M, Takigiku K, Niimura I, Yokota S: The Response of T-wave Parameter during Exercise Testing in Paediatric Patients with QT Prolongation and Bifid T-wave. The 31st International Congress on Electrocardiology, 京都, 2004, 6.

相原雄幸: イブニングシンポジウム9. アナフィラキシーショックの予防治療法. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー. 第54回日本アレルギー学会総会, 横浜, 2004, 11.

相原雄幸: アレルギーの最近の話題. 鎌倉市医師会, 鎌倉小児科医会講演会, 鎌倉, 2004. 9.

相原雄幸: 食物依存性運動誘発アナフィラキシーとNSAIDs. 第3回神奈川アレルギー懇話会, 横浜, 2004, 9.

相原雄幸: 食物依存性運動誘発アナフィラキシー. 日本医師会ラジオ講座, 東京, 2004, 9.

相原雄幸: 食物アレルギーのABC. 横浜州市大市民健康講座, 市大センター病院, 2004, 8.

菊池信行: 若年発症2型糖尿病の予後. 第47回日本糖尿病学会. 東京, 2004, 5.

伊藤玲子, 石田 華, 横田俊平, 相原雄幸: 横浜市内幼稚園児における食物アレルギーの実態調査: 保護者へのアンケート調査より. 第41回日本小児アレルギー学会, 東京, 2004, 11.

伊藤玲子, 石田 華, 横田俊平, 相原雄幸: 横浜市内小学校における食物依存性運動誘発アナフィラキシーの疫学調査. 第54回日本アレルギー学会総会, 横浜, 2004, 11.

市川和志, 志賀健太郎, 武下草生子, 根津敦夫: 低酸素性脳障害に対する軽度低体温療法の有効性と合併症の検討. 第46回日本小児神経学会総会, 東京, 2004, 4.

市川和志, 只木弘美, 鈴崎竜範, 西山嘉子, 藤岡憲一郎, 徳弘悦郎, 森 雅亮: ガンマグロブリン大量療法後に特異な発熱, 発疹を呈した川崎病の5例. 第267回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 3.

志賀健太郎, 山口哲也, 菊池信行, 徳弘悦郎, 岩崎志穂: 外性器異常を伴った副腎機能不全症の1例. 第38回日本小児内分泌学会, 神戸, 2004, 10.

武下草生子, 根津敦夫: 脳内海綿状血管腫の1家族例. 第33回神奈川小児神経懇話会, 横浜, 2004, 2.

武下草生子, 根津敦夫, 奥山健一, 志賀健太郎, 赤池 徹, 西沢 崇, 中村智子, 瀧間浄宏, 菊池信行, 岩本眞理, 相原雄幸, 横田俊平: A型インフルエンザ感染症に合併した急性小児片麻痺の1乳児例. 第269回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 6.

武下草生子, 市川和志, 志賀健太郎, 根津敦夫: 非典型的な症状を呈した Leigh 脳症の3例. 第46回日本小児神経学会, 東京, 2004, 7.

武下草生子, 根津敦夫, 伊藤 進: 10年の経過を経て悪性化した Dysembryoplastic Neuroepithelial Tumor の1例. 第41回日本小児神経学会関東地方会, 東京, 2004, 9.

西沢 崇, 瀧間浄宏, 赤池 徹, 岩本眞理, 安井 清, 安河内聡: PDA コイル塞栓術後左肺動脈狭窄をきたしステント留置を施行した1例. 第15回日本 Pediatric Interventional Cardiology 研究会, 東京, 2004, 1.

原田知典, 石田史彦, 関 和男, 伊藤みちる, 立石 格: 不均衡型相互転座, 多発奇形に伴う心疾患の治療と家族との関わり. 第49回日本未熟児新生児学会, 横浜, 2004, 11.

町田裕之, 中村智子, 奥山健一, 大濱有子, 伊藤秀一, 武下草生子, 根津敦夫: 微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)に合併した Reversible Posterior Leukoencephalopathy Syndrome (RPLS) の1例. 第26回日本小児腎不全学会, 軽井沢, 2004, 10.

山口哲也, 菊池信行, 徳弘悦郎, 志賀健太郎: IUGR, 低身長, GH 治療中に思春期早発症を認めた一例. 第38回日本小児内分泌学会, 神戸, 2004, 10.

藤田真理, 奥山健一, 伊藤玲子, 武下草生子, 志賀健太郎, 中村智子, 菊池信行, 根津敦夫, 相原雄幸, 横田俊平: マイコプラズマ肺炎の関与が疑われた Stevens-Johnson syndrome の一例. 第107回日本小児科学会総会, 岡山, 2004, 4.

平井 綾, 奥山健一, 志賀健太郎, 西沢 崇, 瀧間浄宏, 武下草生子, 中村智子, 菊池信行, 根津敦夫, 相原雄幸, 横田俊平, 岩崎志穂: 急性呼吸不全をきたした粘液栓(粘液塞栓症)の一例. 第269回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 6.

横須賀とも子, 加藤宏美, 奥山健一, 志賀健太郎, 西澤 崇, 武下草生子, 中村智子, 瀧間浄宏, 菊池信行, 根津敦夫, 相原雄幸, 岩本眞理, 赤池 徹, 横田俊平: 先天性大理石様網状皮斑に肺高血圧クリーゼを併発した一乳児例. 第269回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 6.

大槻恭子, 菊池信行, 山口哲也, 赤池 徹, 奥山健一, 志賀健太郎, 武下草生子, 西沢 崇, 中村智子, 瀧間浄宏, 根津敦夫, 岩本眞理, 相原雄幸, 横田俊平: 低身長を契機に診断されたクローン病の1男児例. 第271回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 11.

武下草生子, 根津敦夫, 市川和志, 奥山健一, 志賀健太郎, 赤池 徹, 西沢 崇, 中村智子, 瀧間浄宏, 菊池信行, 岩本眞理, 相原雄幸, 横田俊平: A型インフルエンザ感染症に合併した急性小児片麻痺の1乳児例. 第271回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 11.

岩本眞理, 柴田利満, 西澤 崇, 瀧間浄宏, 新村一郎: QT延長症候群と運動負荷心電図検査. 第18回不整脈勉強会「運動と不整脈」第40回日本小児循環器学会総会サテライトシンポジウム, 東京, 2004, 7.

岩本眞理, 新村一郎, 瀧間浄宏, 西澤 崇, 赤池 徹, 安井 清: QT延長を伴わない多形性心室性頻拍の臨床像. 第40回日本小児循環器学会総会, 東京, 2004, 7.

岩本眞理, 赤池 徹, 西澤 崇, 瀧間浄宏: 徐脈頻脈症候群の管理について. 第9回日本小児心電学研究会, 倉敷, 2004, 11.

瀧間浄宏, 岩本眞理, 西澤 崇, 赤池 徹, 三角和雄: 川崎病冠動脈狭窄病変に対するロータブレーターは第一選択となりうるか. 第40回日本小児循環器学会総会, 東京, 2004, 7.

赤池 徹, 西澤 崇, 瀧間浄宏, 岩本眞理, 間中 宏, 林 明宗, 栗原宏明, 橋本みちる, 関 和男: 急速に進行した心不全に対し経動脈的血管内塞栓術が著効した先天性硬膜動静脈瘻の1新生児例. 第15回日本 Pediatric Interventional Cardiology 研究会, 東京, 2004, 1.

赤池 徹, 岩本眞理, 西澤 崇, 瀧間浄宏, 柴田利満, 新村一郎: QT延長症候群における手術中のTdP予防

法について. 第9回日本小児心電学研究会, 倉敷, 2004, 11.

赤池 徹, 岩本眞理, 西澤 崇, 瀧間浄宏: PM植え込み術中にTdPを生じたQT延長症候群の1例—その予防法について—. 神奈川小児循環器談話会, 横浜, 2004, 12.

志水 直, 瀧間浄宏, 西澤 崇, 赤池 徹, 岩本眞理, 高梨吉則, 寺田正次, 磯松幸尚, 飛川浩治, 国井佳文, 安河内聡: 人工血管の狭窄に対するステント留置の経験—大動脈狭窄部人工血管置換術後の1成人例—. 第15回日本 Pediatric Interventional Cardiology 研究会, 東京, 2004, 1.

志水 直, 瀧間浄宏, 岩本眞理, 西澤 崇, 赤池 徹, 高梨吉則, 寺田正次, 磯松幸尚, 飛川浩治, 国井佳文: チアノーゼを契機に発見されたびまん性肺気腫, 動脈管開存症の1例. 第10回日本小児肺循環研究会, 東京, 2004, 2.

今川智之, 宮前多佳子, 梅林宏明, 黒澤るみ子, 片倉茂樹, 森 雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 横田俊平, 吉崎和幸, 西本憲弘: ヒト化抗IL-6受容体抗体(MRA)療法により寛解が得られた難治性全身型若年性特発性関節炎の一例. 第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 2004, 4.

梅林宏明, 黒澤るみ子, 中島章子, 今川智之, 片倉茂樹, 森 雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 横田俊平: 若年性皮膚筋炎における肺病変. 第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 2004, 4.

片倉茂樹, 梅林宏明, 黒澤るみ子, 中島章子, 今川智之, 森 雅亮, 相原雄幸, 横田俊平: 小児科発症皮膚筋炎(JDM)の寛解導入および維持におけるエンドキサン・パルス療法(IVCY)の有用性. 第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 2004, 4.

黒澤るみ子, 梅林宏明, 中島章子, 宮前多佳子, 今川智之, 片倉茂樹, 森 雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 横田俊平: 当科における小児期発症SLE42例の診断的特徴. 第48回日本リウマチ学会総会, 岡山, 2004, 4.

堤 晶子, 梅林宏明, 黒澤るみ子, 奥山健一, 中村智子, 今川智之, 片倉茂樹, 森 雅亮, 相原雄幸, 横田俊平: 当科で経験したANCA関連腎炎3症例の臨床的検討. 第269回日本小児科学会神奈川地方会, 横浜, 2004, 6.

菅井和子, 志賀綾子, 相原雄幸, 岡田賢司, 小倉英郎, 岩田 力, 横田俊平: アレルギー児に対する予防接種実施状況アンケート調査. 第41回日本小児アレルギー学会, 東京, 2004, 11.

菅井敏行, 森 雅亮, 小林慈典, 今川智之, 相原雄幸, 横田俊平: インフルエンザウイルス感染後のマウス肺におけるサイトカインの動態. 第107回日本小児科学会総会, 岡山, 2004, 4.

(研究助成金)

相原雄幸(分)：厚生労働科学研究費補助金研究「免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業：食物等によるアナフィラキシーの原因物質(アレルギー)の確定，予防・予知法の確立に関する研究」，分担研究課題「食物依存性運動誘発性アナフィラキシーに関する研究」，200万円。

相原雄幸(分)：厚生労働科学研究費補助金研究「難治

性疾患克服研究事業：難治性皮膚疾患(重症多形滲出性紅斑(急性期)を含む)の画期的治療法に関する研究」，分担研究課題「小児の重症多形滲出性紅斑に関する研究」，100万円。

菊池信行(分)：厚生科学研究費補助金(子ども家庭総合研究)研究「糖尿病および生活習慣病をもつ子どものQOL改善のために研究」，30万円。

総合内科

(論文発表)

斎藤真理：専門医に学ぶこの症候にこの対応！消化器症状 腹部膨満感，今月の治療，**12**(11)：1203-1207，2004。

宮崎喜久子，斎藤真理：医学教育における緩和ケア教育の現状と課題，横浜医学，**55**(1・2)：1-10，2004。

宮崎貴久子，斎藤真理：患者療養中の状態が死別後の家族に与える影響，生と死，(6)：27-35，2004。

(総説)

斎藤真理：更年期の臨床とその対応(治療)，更年期における先行・潜在病変の増悪の可能性，臨床病理レビュー (131)：38-44，2004。

(著書)

黒子幸一，斎藤真理，白土辰子，高宮有介，西田茂史，水町忠弘：臨床緩和ケア，青海社，2004。

(学会発表)

斎藤真理，黒子幸一，白土辰子，高宮有介：医学生の緩和ケア教育のための教員セミナー：第28回日本死の臨床研究会，筑波，2004，11。

黒子幸一，高宮有介，白土辰子，斎藤真理，西田茂史：大学医学部の緩和ケア教育カリキュラム試案に基づく教科書作成—大学病院の緩和ケアを考える会編：第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

宮崎貴久子，斎藤真理：患者療養中の状態が死別後の家族に与える影響：一般病棟の緩和ケアにおける家族の経時的研究，第17回日本サイコオンコロジー学会，福岡，2004，5。

宮崎貴久子，中村鈴子，与那嶺司，大柄根いづみ，林

文，斎藤真理：多職種緩和ケア教育カリキュラム調査：医学卒前教育，第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

宮崎貴久子，与那嶺司，中村鈴子，大柄根いづみ，林文，斎藤真理：多職種緩和ケア教育カリキュラム調査：臨床心理士卒前教育，第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

大柄根いづみ，宮崎貴久子，中村鈴子，与那嶺司，林文，斎藤真理：多職種緩和ケア教育カリキュラム調査：薬学卒前教育，第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

与那嶺司，宮崎貴久子，中村鈴子，大柄根いづみ，林文，斎藤真理：多職種緩和ケア教育カリキュラム調査：理学療法・作業療法卒前教育，第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

中村鈴子，宮崎貴久子，与那嶺司，大柄根いづみ，林文，斎藤真理：多職種緩和ケア教育カリキュラム調査：看護基礎教育，第9回日本緩和医療学会，札幌，2004，6。

宮崎貴久子，斎藤真理：緩和ケアにおけるQOL評価の問題点：非ランダム欠損の発生状況，第28回日本死の臨床研究会，筑波，2004，11。

宮崎貴久子，斎藤真理，林文：緩和ケア教育の実施校の分類，第21回日本分類学会，東京，2004，12。

(研究助成金)

宮崎貴久子，斎藤真理：緩和ケアにおけるQOLの現状と課題：患者と家族のQOL継続調査，平成16年度財団法人笹川医学医療研究財団研究助成，100万円。

血液内科

(論文発表)

Tomita N, Kanamori H, Fujimaki K, Fujisawa S, Ishigat-subo Y: Epstein -Barr Virus- Associated Extranodal NK/T-Cell Lymphoma following Mosquito Bites in an Elderly

Patient without Prior Hypersensitivity. Leukemia Lymphoma, 45: 2153-2155, 2004.

(著書)

藤澤 信：EBM 血液疾患の治療2005-2006，中外医学